

各部会における今年度の取組について（中間報告）

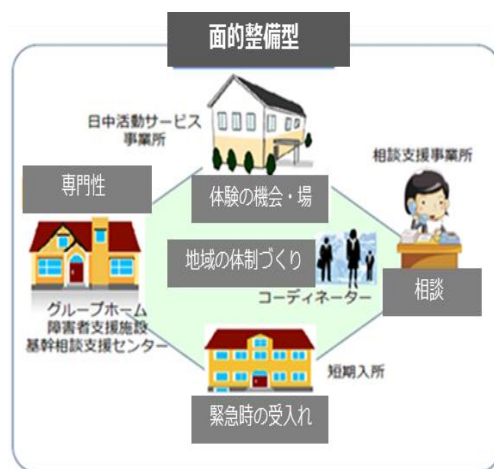
令和 6 年 1 0 月 1 8 日

令和6年度「地域生活支援拠点等検討部会」中間報告について

1 検討事項

障害者の高齢化、重度化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築として地域生活支援拠点等（以下「拠点」という。）を令和2年度末までに面的整備を行い、令和3年度から運用を開始しました。

今年度の当部会では引き続き、拠点の充実のため整備すべき機能のうち「体験の機会・場」、「専門的人材の確保・養成」の機能を中心に検討を進めています。



2 部会員

団 体 等 名	氏 名
医療法人 成精会	垣 田 泰 宏（部会長）
社会福祉法人 観寿々会	橋 口 磨理子
刈谷市障害者支援センター	相 澤 道 子
西三河南部西地域アドバイザー	鈴 木 康 仁
刈谷市民生委員・児童委員連絡協議会	間 瀬 菜穂子
刈谷市社会福祉協議会	川 口 剛 史
社会福祉法人 ひかりの家	武 田 智 枝
株式会社 悠	外 山 浩 章
刈谷市肢体不自由児・者父母の会	野々山 厚 子
刈谷手をつなぐ育成会	池 田 富
刈谷地域精神障害者家族会	長谷川 宏

3 検討経過

今年度は、令和5年12月までの運営評価の中で、評価が低かった「体験の機会・場」「専門的人材の確保・養成」機能を昨年度に続き検討を行っています。第27回部会では、体験の機会・場の機能として一人暮らし体験利用について制度案の報告及び意見交換を行いました。第28回部会では、グループホーム体験の利用促進に向けた意見交換及び一人暮らし体験利用の制度案の報告を行いました。

なお、専門的人材の確保・養成については、事業所代表として参加している部会員を中心に検討を行いました。人材の「確保」に向けた取組として、福祉事業所従事者へのアンケート調査の報告、各事業所等の取組状況の共有を行いました。

回数	開催日	内容
第27回部会	6月28日	・グループホーム体験利用後の効果検証について ・一人暮らし体験利用の検討について ・専門的人材の確保について
第28回部会	9月27日	・事前登録に関する報告 ・グループホーム体験利用後の効果検証について ・一人暮らし体験利用の検討について ・専門的人材の確保について

4 検討結果

(1) 事前登録の現状と見通し

事前登録の窓口となる各相談支援事業所と連携し、事前登録が必要と思われる対象者について勧奨の依頼をしました。令和6年9月末時点で、事前登録は3件です。引き続き、随時の相談、勧奨等を行います。

(2) 拠点の充実のため整備すべき機能について

今年度検討・整備を進めている内容の進捗状況は、ア～ウのとおりです。

ア グループホームの体験利用について

体験利用者の実績及び体験者の振り返りシート（アンケート）結果について情報共有しました。市内相談支援事業所との意見交換を行い、体験の利用促進について検討しました。引き続き利用者への周知を図るとともに体験利用後の調査実績の積み上げを行い、地域移行への課題等を抽出し、体験方法やプログラムの改善、地域移行への取組等を検討していきます。

イ 一人暮らし体験利用の整備について

一人暮らしの体験が可能な「体験の場」について、グループホームのサテライト型住居を利用した体験制度及び居室を利用した体験制度の2パターンの実施に向けた調整を行いました。引き続き、体験制度の実施に向け、条件や手順等について検討・調整していきます。

ウ 専門的人材の確保・養成について

専門的人材の「確保」について検討しました。福祉事業所従事者へのアンケート調査結果の報告及び人材確保についての情報共有を行いました。引き続き、情報収集を図るとともに取組方針等について検討していきます。

5 今後の検討事項

引き続き既存の機能（「相談」、「緊急時の受入れ」）の現状確認に加え、「体験の機会・場」、「専門的人材の確保・養成」機能の充実に向け検討を行います。また令和6年12月までの取組について運営評価を行います。

回	開催予定日	内容
第29回部会	2月21日	・グループホーム体験後の効果検証について ・一人暮らし体験利用制度について ・運営評価及び次年度の取組について ・人材確保施策について

参考

地域生活支援拠点等で整備する5つの柱（機能）について

機能	内容
①相談	基幹相談支援センター、委託相談支援事業、特定相談支援事業とともに地域定着支援を活用してコーディネーターを配置し、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録した上で、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートや相談その他必要な支援を行う機能
②緊急時の受入れ・対応	短期入所を活用した常時の緊急受入体制等を確保した上で、介護者の急病や障害者の状態変化等の緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の必要な対応を行う機能
③体験の機会・場	地域移行支援や親元からの自立等に当たって、共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能
④専門的人材の確保・養成	医療的ケアが必要な者や行動障害を有する者、高齢化に伴い重度化した障害者に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保や、専門的な対応ができる人材の養成を行う機能
⑤地域の体制づくり	基幹相談支援センター、委託相談支援事業、特定相談支援、一般相談支援等を活用してコーディネーターを配置し、地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能

令和6年度「就労支援部会」中間報告について

1 開催日時

第47回就労支援部会 令和6年 6月 4日

2 部会員

団 体 等 名	氏 名
認定特定非営利活動法人 パンドラの会	坂 口 伊久磨（部会長）
特定非営利活動法人 くるくる	手 嶋 雅 美
パッソ刈谷校	大 城 盛一郎
LITALICO ワークス刈谷	濱 嶋 健
刈谷市障害者支援センター	梶 佳 稔
西三河南部西障害者就業・生活支援センター	川 村 顕 治
刈谷商工会議所	岡 田 行 永
刈谷公共職業安定所	志 水 みゆき
愛知県立安城特別支援学校	加 藤 昌 子
刈谷市立刈谷特別支援学校	佐 伯 忍
商工業振興課	北 洞 貴 康

3 報告事項

（1）第47回刈谷市障害者自立支援協議会就労支援部会に関する報告について

第47回刈谷市障害者自立支援協議会の中で就労支援部会の取組み等について報告した内容について部会員間で共有しました。

（2）雇用セミナーについて

昨年度開催した雇用セミナーについて、初めて当事者の話を直接聞く場を設けたことから「当事者の意見を聞けてよかった」という意見や、内容について、新規でこれから採用を考える企業にとってグループワークはハードルが高い」などの意見があり、これらの意見を踏まえ、今年度も引き続き障害者雇用セミナーを開催する方針を決定しました。

セミナーの具体的な内容等、詳細についてはワーキンググループを設置し、検討を進めることとしました。なお、開催日時、場所等は以下のとおりです。

【開催日時】 令和6年1月22日（水）午後1時～4時

【会 場】 刈谷市産業振興センター6階 604会議室

(3) 就労支援に関する課題解決に向けた取り組みについて

昨年度までの部会で抽出された3つの課題解決に向けた取り組みについて意見交換を行いました。

ア 就労継続支援A型、B型からの一般就労促進

就労支援連絡会にて、就労移行支援事業所や一般就労の促進に取り組んでいる事業所から話を聞く機会を設けることについて調整を進めています。

イ ひきこもりを含む若者の就労支援

これまでの取組や意見を踏まえ、課題を整理するとともに、今後部会としてどのような取組ができるのか検討を進めていきます。

ウ 学校卒業後の就労定着支援

令和7年10月から就労選択支援が施行されるため、在学中から障害福祉サービス事業所と関係を作るきっかけになるのではないかと考えています。来年度の施行に向けて勉強の場を設けることについて、検討を進めていきます。

4 今後の取組み及び検討事項等

(1) 令和6年度の障害者雇用セミナーについて

ワーキンググループを中心に、当日のプログラム等、詳細な内容や実施方法を検討し、セミナーを開催します。

(2) 就労支援に関する課題解決に向けた取組みについて

各課題について、部会員から挙げられた意見を踏まえ、具体的な取組みについて検討を行います。

令和6年度「相談支援部会」中間報告について

1 開催日時

第68回相談支援部会 令和6年5月30日（木）

第69回相談支援部会 令和6年9月19日（木）

2 部会員

団 体 等 名	氏 名
刈谷市障害者支援センター	伊 澤 紀 明（部会長）
社会福祉法人 ひかりの家	山 田 哲 哉
社会福祉法人 観寿々会	酒 井 克 朗
刈谷市社会福祉協議会	神 谷 清 美
株式会社 悠	外 山 浩 章
株式会社 エイト	竹 内 弓 理
株式会社 こもれび	佐々木 亜紀子
西三河南部西地域アドバイザー	鈴 木 康 仁

3 報告事項

（1）相談支援部会における検討内容等

ア 相談支援部会に関する各連絡会報告

各連絡会の活動報告を行い、そこで話し合われた困難事例や地域課題、その解決策等について共有をしました。

相談支援連絡会では、令和6年度の報酬改定に伴う変更点や取組みについて共有し、事業所間での困りごとや課題等の整理をしました。

地域生活支援連絡会では、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題の洗い出しを行うとともに、現状分析を行いました。

地域包括交流会では、困難事例を障害と介護の観点から対応方法について検討を行いました。

くらしと通所の連絡会では、事業所間の交流を図るとともに、各事業所の困難事例を共有することで、地域での連携強化に取り組みました。

イ 相談支援体制の充実に向けた取組みについて

刈谷市の相談支援体制を充実させるために、課題解決に向けた具体的な取組みを検討するワーキンググループを今年度設置しました。ワーキンググループでは、現状や課題の整理を行い、今後の運用方法について話し合いました。今年度については、各相談支援事業所が抱えている問題を把握するために各事業所向けのアンケートを実施し、今後の対応について検討

をしていく予定となっています。

4 今後の取組み及び検討事項等

今年度については、優先すべき課題とされている相談支援体制の充実についてを中心に話し合いを行っていく予定となっています。介護分野との連携や市内事業所の交流などを推進するとともに、各事業所からのアンケート結果を踏まえ、相談支援の質の向上や提供体制の整備について、引き続き部会で検討を重ねていきます。

令和6年度「子ども部会」中間報告について

1 開催日時

第27回子ども部会 令和6年6月11日（火）

2 部会員

団 体 等 名	氏 名
刈谷市社会福祉協議会	神 谷 清 美（部会長）
社会福祉法人 ひかりの家	山 田 哲 哉
医療法人 成精会	松 本 靖 子
刈谷特別支援学校 P T A	小 林 歩 美
安城特別支援学校地区別懇談会 刈谷交流会	伊 藤 麻 衣
らっこちゃん親の会	宮 田 志保子
刈谷児童相談センター	鈴 木 雄 二
刈谷市立刈谷特別支援学校	清 水 雅 也
愛知県立安城特別支援学校	加 藤 則 子
子育て支援課	角 岡 篤 樹
学校教育課	近 藤 佳奈子

3 報告事項

（1）子ども部会における検討内容等

子育て支援セミナーの開催にあたり、テーマや講師の候補等について検討しました。

テーマについては、第26回子ども部会で提案された「障害児を持つ親の子離れ」から性や自己決定に関する話題やギフテッド等の意見が出ました。

講師については、昨年、安城特別支援学校で障害児の性に関する講演を行った方が候補として挙げられました。

セミナーの開催方法については、昨年度と同様、保護者同士の関わりを深めるために対面で行い、具体的な内容等、詳細については、ワーキンググループを設置し、そこで検討を進めることになりました。

（2）子育て支援セミナーワーキンググループにおける検討内容

7月29日（月）、8月30日（金）にセミナーの具体的な内容についての検討が行われました。

テーマについては、「障害児の性」、「自己決定」という多くの保護者の関心度が高いと予想されるものに決定しました。

講師については、部会で候補に挙げられた伊藤修毅氏に講演を依頼することになりました。

検討の結果、以下の内容で決定しました。

【開催日時】令和7年1月29日（水）午前10時～正午

【会 場】刈谷市社会教育センター401研修室・和室（託児所）

【講 師】伊藤修毅（いとうなおき）氏

【テ ー マ】「障害のある子どもたちの性と生」

【定 員】60名

（3）所属機関の抱える課題について

社会福祉法人ひかりの家より、現在の障害児支援の課題について説明がありました。福祉事業所と教育機関との子どもに対する支援の連携について、上手く調整が取れていない事例もあるため、福祉と教育の連携を円滑にするための仕組みづくりが必要であるという発言がありました。

4 今後の取組み及び検討事項等

（1）子育て支援セミナーについて

部会やワーキンググループで広報や当日のタイムテーブル等について話し合い、セミナーを開催します。

（2）所属機関の抱える課題解決に向けた取組みについて

課題について、部会員から挙げられた意見を基にして、具体的な取組みについて検討を行います。

令和6年度「福祉人財研修部会」中間報告について

1 検討事項

令和5年度から新たに設置された部会。市内福祉事業所の人材育成・スキルアップ、障害者理解を図るために必要な研修内容（テーマ）を協議・検討及び実施手法等を構築する。

2 部会員

団 体 等 名	氏 名
刈谷市社会福祉協議会	中 筋 陽 三（部会長）
社会福祉法人 観寿々会	橋 口 磨理子
社会福祉法人 ひかりの家	土 井 康 臣
刈谷市障害者支援センター	相 澤 道 子
株式会社 悠	外 村 敦 子
特定非営利活動法人 くるくる	加 藤 正 昭
株式会社 エイト	竹 内 弓 理
一般社団法人 IML	長谷川 昭 人
特定非営利活動法人 インクル	川 島 容 子
合同会社 らっく	石 川 岳 寛

3 検討経過

第1回部会（6月10日）及び第2回部会（9月30日）において、「虐待防止研修」、「令和6年度下期研修」「令和7年度研修」について研修内容及び実施手法等を検討しました。

4 実施研修（実施予定も含む）

回数	開催日	内容	申込人数	参加人数
第1回研修	7月12日	虐待防止研修	30事業所 72名	30事業所 64名
第2回研修	12月13日	虐待防止研修		
第3回研修	令和7年 1月	福祉基礎研修		

5 今後の検討事項

事業所アンケートや研修参加者へのアンケート結果を踏まえ、次年度の研修内容の選定・実施手法の検討、虐待防止研修の実施手法の検討を行います。

回	開催予定日	内容
第3回部会	令和7年 2月10日	・次年度研修内容の選定・実施手法について ・虐待防止研修の実施手法について